

女流競演

新能

たかさき

第16回 たかさき新能

灯火・室内能
会場／群馬音楽センター

平成13年10月19日(金)
午後4時30分開場 午後6時開演
(午後5時30分より演目解説)

観覧券発売中

A 席 ¥5,000(当日券¥5,500)
B 席 ¥4,000(当日券¥4,500)
自由席 ¥1,000(当日券¥1,500)

仕舞 鶴之段 金春流 高橋万紗
井筒 金春流 富山禮子
舟舟度 金春流 仙田理芳
狂言 仏師 和泉流 和泉淳子 他
能 黒塚 金春流 島原春京 他

主催 高崎市・(社)高崎観光協会
お問合せ ☎027-321-1257
後援 高崎商工会議所

プレイガイド

高崎駅構内観光案内所・高崎市文化会館
群馬音楽センター・高島屋・スズラン
高崎観光協会





能「黒塚」



狂言「仏師」



演目解説

能 くろづか 黒塚

阿闍梨柘慶と山伏は、廻国行脚の途中、安達が原で一夜の宿を借りる。その家の女は、糸繰りのわざをみせてもてなすが、闇の内は絶対見るなど言い残して、山に薪を採りに行く。

約束を破って闇をのぞいてみると、そこには死骸が山と積まれていた。びっくりして逃げ出す山伏を本性を現わした鬼女が襲いかかるが、やがて折り打ち伏せられる。

狂言 ぶっし 仏師

田舎の者が、持仏堂を建立し、安置する仏像を求めに都へ行く。そこに、すっぽが現われ仏師だと偽って、等身大の吉祥天女の像を渡すと約束をし、自ら仏像になりすます。田舎の者は仏像の印相が気に入らず、仏師を呼ぶ。すっぽが印相を変えて再び立っていると、田舎の者は、また気に入らないと仏師を呼ぶ。繰り返して仏像になったり仏師になったりしているうちに、すっぽは正体を見破られてしまう。

演者及びスケジュール(予定)

17:30	演目解説 有川美亀男(群馬大学名誉教授)	(30分)
18:00	あいさつ	(10分)
18:10	仕舞 端之段 高橋 万紗 井 筒 富山 禮子 舟弁慶 仙田 理芳	(15分)
		箕輪扶由子 梅井みつ子 地謡 平 友恵 大沢久美子 深津 洋子
18:25	狂言 仏師 シテ 和泉 淳子 アド 三宅藤九郎 後見 白井 新子 (働き 金澤 明子 替井 宏江)	(30分)
18:55	休憩	(15分)
19:10	能 黒塚 シテ 島原 春京 ワキ 野口 能弘 ワキツレ 野口 琢弘 アイ 和泉 淳子 笛 堀井 洋子 小鼓 神保 通世 大鼓 山田 利子 太鼓 西嶋 淳子	(70分)
		後見 富山 禮子 箕輪扶由子 大沢久美子 平 友恵 梅井みつ子 仙田 理芳 地謡 長谷川 洋 高橋 万紗 深津 洋子 久保田葵美



20:20 終演